

調査日：平成31年1月11日(金)～18日(金)

回収率：73.0%(1年次…81.5%, 2年次…53.7%, 卒年次…78.1%)

回答：4・そう思う

3・どちらかといえばそう思う

2・どちらかといえばそう思わない

1・そう思わない

1 定期考査には十分勉強して臨んでいる。

	4・3	2・1	平均
今年度	<b>53.1%</b>	<b>46.9%</b>	<b>2.4</b>
昨年度	42.5%	57.5%	2.3

プラス評価が若干増えているが、今後も学習習慣をつけさせていく指導が必要である。

2 自分の学習成果や成績に満足している。

	4・3	2・1	平均
今年度	<b>51.9%</b>	<b>48.1%</b>	<b>2.5</b>
昨年度	57.5%	42.5%	2.5

4・3の割合が低くなっている。卒業後の進路を見据えさせ、授業に確実に出る指導や学習習慣をつけさせる指導を継続することが必要である。

3 食事・睡眠・運動に気を配るなど、健康管理に努めている。

	4・3	2・1	平均
今年度	<b>39.5%</b>	<b>60.5%</b>	<b>2.3</b>
昨年度	57.5%	42.5%	2.5

健康面への意識が大幅に低くなっている。健康に関する指導を継続的にしていかなければならない。

4 学校行事には、積極的に参加している。

	4・3	2・1	平均
今年度	<b>77.8%</b>	<b>22.2%</b>	<b>3.1</b>
昨年度	68.5%	31.5%	2.9

学校行事に対する意識が増加している。学校行事に主体的に関わることで、充実感が得られることを継続して指導する必要がある。

5 授業は分かりやすく、教え方が丁寧である。

	4・3	2・1	平均
今年度	<b>84.0%</b>	<b>16.0%</b>	<b>3.1</b>
昨年度	87.5%	12.5%	3.2

「分かる授業」の工夫を図り、生徒が確実に授業に出てくるような取り組みを続けなければならない。

6 開陽マッチや開陽祭等の学校行事は充実している。

	4・3	2・1	平均
今年度	<b>79.0%</b>	<b>21.0%</b>	<b>3.1</b>
昨年度	91.7%	8.3%	3.2

学校行事に積極的に取り組んでいるが、充実していると感じている割合は減っている。主体的に取り組ませることで充実感が得られるように取り組む。

7 先生はよく相談にのってくれる。

	4・3	2・1	平均
今年度	<b>85.2%</b>	<b>14.8%</b>	<b>3.2</b>
昨年度	87.5%	12.5%	3.2

教育相談等に関する職員研修の機会を設定しながらスキルアップに努め、生徒が相談しやすい雰囲気作りに努めていかなければならない。

8 いやなことを言われたりやいじめを受けたりして不愉快な思いをしたことがない。

	4・3	2・1	平均
今年度	<b>87.7%</b>	<b>12.3%</b>	<b>3.5</b>
昨年度	87.5%	12.5%	3.5

今後とも全職員が学校生活全般におき生徒への目配りをしっかりしていかなければならない。

**定時制****平成30年度 保護者による評価**

調査日：平成31年1月11日(金)～18日(金)

調査方法：直接回答, 郵送による回答

回答：4・そう思う

3・どちらかといえばそう思う

2・どちらかといえばそう思わない

1・そう思わない

- 1 校訓の「夢・実現」が、高校生活を送る上で生徒の生活信条にもなっている。

	4・3	2・1	平均
今年度	<b>92.3%</b>	<b>7.7%</b>	<b>3.4</b>
昨年度	94.1%	5.9%	3.4

概ね良好の評価を得ている。今後とも保護者の協力と理解を得られるようにしたい。

- 2 生徒は勉強に一生懸命取り組んでいる。

	4・3	2・1	平均
今年度	<b>69.2%</b>	<b>30.8%</b>	<b>2.9</b>
昨年度	55.9%	44.1%	2.7

昨年に比べ平均は高くなっているが、全体的な評価は低く保護者は学習が不十分であると感じている。学習の重要性を繰り返し指導していく必要がある。

- 3 生徒は学習以外にも目的をもって一生懸命取り組んでいる。

	4・3	2・1	平均
今年度	<b>76.9%</b>	<b>23.1%</b>	<b>3.1</b>
昨年度	85.3%	14.7%	3.0

生徒が目的をもって学校生活を過ごしていると感じている保護者の割合が減ってきている。いろいろな情報を与えながら、生徒に目的をもたせなければならぬ。

- 4 生徒の生活習慣(自己管理の能力)がしっかりしている。

	4・3	2・1	平均
今年度	<b>61.5%</b>	<b>38.5%</b>	<b>2.7</b>
昨年度	58.8%	41.2%	2.6

生活習慣の評価についてはまだ十分ではない。家庭と連携した継続的な指導が必要である。

- 5 生徒は公共物を大切に、マナーを守っている。

	4・3	2・1	平均
今年度	<b>94.9%</b>	<b>5.1%</b>	<b>3.5</b>
昨年度	100.0%	0.0%	3.5

昨年は4・3の評価のみであった。今年は2・1の評価もある。今後とも生徒に常に規範意識を持って行動するよう指導していく。

- 6 生徒は定時制の時間的メリットを活かした生活(学業と仕事)をしている。

	4・3	2・1	平均
今年度	<b>71.8%</b>	<b>28.2%</b>	<b>3.1</b>
昨年度	82.4%	17.6%	3.2

定時制のメリットを活かして生活を充実させていると捉えている割合が減少している。目標を持たせることが必要である。

- 7 学校は、学校の様子や生徒の情報をよく知らせる。

	4・3	2・1	平均
今年度	<b>87.2%</b>	<b>12.8%</b>	<b>3.3</b>
昨年度	82.4%	17.6%	3.2

今後とも定時制のHPやブログ、学校便りを通じて情報発信に努めていかなければならない。

- 8 学校・担任は保護者とよく連携をとっている。

	4・3	2・1	平均
今年度	<b>79.5%</b>	<b>20.5%</b>	<b>3.2</b>
昨年度	82.4%	17.6%	3.2

学級担任が保護者と連絡を密にとりながら、今後も連携がうまく図れるようにしていきたい。

- 9 生徒の実態に応じた生活・進路・衛生指導がなされている。

	4・3	2・1	平均
今年度	<b>94.9%</b>	<b>5.1%</b>	<b>3.4</b>
昨年度	88.2%	11.8%	3.3

今後とも保護者の学校に対する信頼をさらに得られるようにしていきたい。

## 定時制

## 平成30年度 職員による評価(その1)

調査日：平成31年1月11日(金)～18日(金)

回収率：100.0%

回答：4・十分達成している  
2・やや不十分である

3・概ね達成している  
1・不十分である

- 1 本校の教育目標・経営方針を理解して行動している。

	4・3	2・1	平均
今年度	<b>94.4%</b>	<b>5.6%</b>	<b>3.1</b>
昨年度	100.0%	0.0%	3.2

特色ある定時制課程での学びを全職員が理解しながら、今後も教育活動に取り組んでいかなければならない。

- 2 進学や就職など生徒の多様な夢の実現に向けて、個に応じた学習指導を充実させている。

	4・3	2・1	平均
今年度	<b>66.7%</b>	<b>33.3%</b>	<b>2.7</b>
昨年度	83.3%	16.7%	2.9

昨年より大幅に4・3の評価が低くなっている。職員全体で個に応じた進学・就職に向けての指導を進めていかなければならない。

- 3 職員間において、学力向上のための手立てについて話し合いの機会を持っている。

	4・3	2・1	平均
今年度	<b>44.4%</b>	<b>55.6%</b>	<b>2.4</b>
昨年度	44.4%	55.6%	2.4

校外での研修等に参加したり、職員全体での研修等の機会を設定を行っていかねばならない。

- 4 単位制高校としての学校の特色を理解してもらうための広報活動に努めている。

	4・3	2・1	平均
今年度	<b>88.9%</b>	<b>11.1%</b>	<b>3.1</b>
昨年度	83.3%	16.7%	3.1

中学校訪問や授業見学週間の設定の工夫を続ける必要がある。

- 5 問題行動に対する事前・事後指導を十分に行っている。

	4・3	2・1	平均
今年度	<b>72.2%</b>	<b>27.8%</b>	<b>2.9</b>
昨年度	83.3%	16.7%	2.9

数年前に比べ、生徒の問題行動は少ない傾向にあるが、今後も問題行動等の事前防止に取り組む必要がある。

- 6 教室の管理やロッカーの管理等、整理整頓状況の点検・指導に努めている。

	4・3	2・1	平均
今年度	<b>94.6%</b>	<b>5.6%</b>	<b>3.1</b>
昨年度	83.3%	16.7%	3.0

今後も整理整頓の指導を、日常の指導の中で継続していく必要がある。

- 7 日常生活において「自己判断・自己管理・自己責任」の能力の育成を援助している。

	4・3	2・1	平均
今年度	<b>83.3%</b>	<b>16.7%</b>	<b>3.1</b>
昨年度	77.8%	22.2%	2.9

主体的に行動できるように、あらゆる機会を捉えて、生徒に声をかけ続ける指導をしていく必要がある。

- 8 部活動・ボランティア活動・学校行事等へ積極的に参加するように呼びかけ、帰属意識の高揚を図っている。

	4・3	2・1	平均
今年度	<b>61.1%</b>	<b>38.9%</b>	<b>2.7</b>
昨年度	77.8%	22.2%	3.0

体育系部活動参加者が減少している。生徒会を中心に参加の呼びかけを継続していかなければならない。

調査日：平成31年1月11日(金)～18日(金)

回収率：100.0%

回答：4・十分達成している  
2・やや不十分である

3・概ね達成している  
1・不十分である

1 年次に応じた適切な指導援助体制を確立する。

	4・3	2・1	平均
今年度	<b>77.8%</b>	<b>22.2%</b>	<b>2.9</b>
昨年度	83.3%	16.7%	2.9

LHRや特別活動等を活用してキャリア教育の充実を図り、今後とも個に応じた進路指導を推進する必要がある。

2 生徒の個性を生かせる資料の整理や活用がなされている。

	4・3	2・1	平均
今年度	<b>88.9%</b>	<b>11.1%</b>	<b>3.0</b>
昨年度	94.4%	5.6%	3.1

教育相談や家庭訪問の際の記録等はもちろんのこと、細かな情報も確実に次年度に引き継げるような資料を準備しておく必要がある。

3 生徒の希望に即した的確な進路指導を提供する。

	4・3	2・1	平均
今年度	<b>72.2%</b>	<b>27.8%</b>	<b>2.9</b>
昨年度	94.4%	5.6%	3.1

入試制度が変わっていく中で、進路部、卒年次を中心としながら、全職員で進路指導をサポートしていく必要がある。

4 生徒の進路意識の啓発を促し、基礎学力の定着に努める。

	4・3	2・1	平均
今年度	<b>66.7%</b>	<b>33.3%</b>	<b>2.8</b>
昨年度	77.8%	22.2%	2.9

昨年と比較しマイナス評価が高くなっている。授業に出る指導の徹底と学習習慣の確立を図る必要がある。

5 生徒の心身の健康状態について把握し、適切に指導している。

	4・3	2・1	平均
今年度	<b>94.4%</b>	<b>5.6%</b>	<b>3.1</b>
昨年度	88.9%	11.1%	3.3

学校医等の助言も得ながら、今後とも保健部を中心として全職員で生徒の心身の健康状態の把握と指導にあたっていく。

6 給食は円滑に実施されている。

	4・3	2・1	平均
今年度	<b>83.3%</b>	<b>16.7%</b>	<b>3.2</b>
昨年度	94.4%	5.6%	3.1

平均は昨年より高くなっているが、4と3を合わせた評価の割合は昨年より低くなっている。今後は喫食者を拡大させる手立てを考えたい。

7 生活環境や衛生管理が整備されている。

	4・3	2・1	平均
今年度	<b>94.4%</b>	<b>5.6%</b>	<b>3.1</b>
昨年度	100.0%	0.0%	3.2

定期的な保健だよりの発行や教育相談の実施等保健指導は定期的に行われている。今後も継続して取り組んでいく。

8 校舎内外施設の点検を定期的に行い、適切な安全管理を行っている。

	4・3	2・1	平均
今年度	<b>100.0%</b>	<b>0.0%</b>	<b>3.3</b>
昨年度	100.0%	0.0%	3.4

各月に実施している安全点検による確認を今後とも徹底していく。